

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 肛門管癌の病態解明と Staging(病期)に関する研究』

【研究の背景および目的】

肛門管は、発生学的には内胚葉と外胚葉組織の接合部であり多彩な組織を有しています。そのため、その部位から発生する癌も多彩であるのに対し、本邦の大腸癌対し規約(規約)は腺癌を中心に分類されているので肛門管癌の特殊性のために規約に合致しない事項があるのが現状です。

そこで、今回の研究では、これらの状況において、本邦における肛門管癌の病態解明とともに、肛門管扁平上皮癌の実臨床に沿った Staging(病期判定)を行い、その治療方針の提案を行うことを目的としています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

1999年1月～2015年12月までに東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科において、治療を受けた主病巣の部位が肛門(管)の悪性腫瘍症例を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した情報を解析することにより調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
一般・消化器外科
職位・氏名 助教 鏡 哲
電話 03-3762-4151 内線 6530